

梅雨入りも近いので、
都議選の告示も近づきました。



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2017.6.8. NO.1484
御相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX とも
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」・メガンティ近く)



桐ヶ丘団地内で訴える そねはじめ都議(6/4)



◎東京都23区特別区の中の北区。都の施策や都税の使い方は、直接、北区に関わっています。◎国保の通知は、6/12発送です。負担の軽減にこそ、都も区も、財源とあてる必要あり、です。

都議会 最終日
濱渦氏らの偽証告発と議決
(元副知事) 豊洲移転向題
「石原元知事の責任重い」百条委の報告書

◎6月7日の都議会本会議。濱渦氏らの偽証告発の議決に反対したのは、自民党と維新などでした。

そね都議は百条委員会報告書に賛成討論
その理由 ① 石原元知事の責任を明記したこと。
② 都と東京ガスとの交渉、「確認書」の存在と明かにできたこと。しかし、大手ゼネコンによる談合疑惑など、工事契約は全く調査せず。引きがき百条委設置と提案。

そね都議が
お話しす
6/10(土) 2:00~2:30 桐ヶ丘団地内
E集会所
6/11(日) 赤羽西5丁目都庁 5:15~
さがら事務所近く 5:45~

豊洲 都知事が都民と業者に陳謝 6月18日 都議会で

「無害化」のお約束は守れなかった。
「また、860億円もの土壌汚染対策を施しながら、未だお約束を守れていないことを都民の皆様におわびします。」

4年間の都議会をしめくる
最後の都議会の冒頭で知事

◎知事は、「かつての都知事が市場業者や都民に約束し、都議会が付帯決議(2010年)をした『無害化』は達成できていない」と、都民に陳謝しました。これは、重大な陳謝ですね。

都民と17人の共産党都議団との協力共同。たまたかいい大きな力が発揮されたものでね。

豊洲への移転ストップ!
築地での^{建替え}再整備こそ
そねはじめ都議の政策が
光ってきています。実現せまよう。

◎都のプロジェクトチームによれば、
築地の良さは豊富な品ぞろえ
仲卸の「目利き枝」。そして、
都心・銀座に近い好立地
だから、「築地ブランド」価値

市場チーム報告案「築地の価値高い」

豊洲移転なら赤字1兆円

都の市場向題
プロジェクトチーム
(小島敏郎隊長)

◎6月5日、都庁内で、
オ1次報告書案を
発表。今後の議論をふ
まえ、修正を行ったのち、来週
にも知事に報告書を提出へ。

豊洲移転した場合、
60年ご1兆円を超える
市場会計の赤字に

◎上記の報告書案は指摘
◎その赤字を埋めあわせるた
めに、他の市場の売却が
必要になること。
また、新市場の使用上の
不具合を、使いながら直すた
めに費用がかかり、赤字
はさらに拡大すると指摘。

再整備案 工期は3年半~15年 など。
費用は約800億円~388億円
◎築地ブランドを継承し、再生させるほうが、賢い。

豊洲、桁違いの汚染

証言

有害物質含む「豊洲雨」 1日120回20年間降った

東京都築地市場（中央区）の豊洲新市場（江東区）移転の方針を決定した2011年から、「豊洲にあった東京ガス工場の規模を知らないのか。生鮮市場などありえない」と声を上げ、都議会でも証言してきた人がいます。東京ガス元労働者の伊野正之（いの・ただゆき）さん（78）です。伊野さんに聞きました。

元東京ガス労働組合中央委員

伊野 正之さん（78）

私が東京ガス豊洲工場で働き始めたのは1957年です。石炭乾留（かんりゅう）で密閉した炉内で石炭を約1000度で加熱し、揮発分と残留物を分ける作業）によってガスを取り出す「室炉（しつろ）」と呼ばれる職場で働きました。室炉から出てくる石炭粉は大量の水で冷やされ、消火塔からはモクモクと蒸気が立ち上りました。その蒸気が炭の粉を含んだ水滴となって降

り、私たちは「豊洲雨（とよすあめ）」と呼んでいました。豊洲雨に有害物質が含まれていたと知るのは後のことです。豊洲雨は1日当たり120回、20年間降り続け、豊洲の地面にしみ込みました。晴海や月島からも、蒸気はよく見え、豊洲の象徴でした。石炭乾留の副産物のタールなどの残留物にも、ベンゼン・シアン化水銀、鉛、六価クロムなどの有害物質が含まれて

いました。規制が始まるが

当時は戦後復興から経済成長の時期で、首都圏のガス需要は逼迫（ひっぱく）しました。24時間365日、30年間も、盆も正月も休まず、旺盛に稼働していた場所は、日本でも世界でも珍しく「世界一の工場」と会社は常々言っていました。1000人近い労働者が日夜城として稼働させたのが、豊洲工場です。技術革新ごとに最新のプラントが建設され、原料は石炭から石油、ナフサ、LPG、天然ガスへ

工場全景写真を手に労働現場だった「室炉」を指す伊野さん



と変わり、排出される有害物質もさまざまに変化しました。工場からの大量の煙は、煙層沿いの他の工場と一体となってスモッグ公害として問題になりました。美濃部亮吉革新都

非水も無害化することにはなりましたが、実際は海水で薄めて、今では信じられない濃度で流しました。

震災後に液状化

豊洲は、東京湾を埋め立てた地盤の弱い土地です。地下水位が高く、海と川で囲まれ、潮の干満の影響をもちに受けま

す。地中に溜った汚染は、それ自身が汚染されていた潮の満引きやパイピング現象（水圧の高いところから低いところへ向かって流れる現象）によって、縦にも横にも移動します。地面の中の汚染が動くのです。

コンクリートで表面を覆ったとしても、地盤の悪い豊洲は地震の液状化で地中の物質が地上に出てきます。

東日本大震災の翌日、豊洲を見にいきました。土砂と一緒に泥水が大きな噴き出しを見て驚き、汚染も湧いたのではと思いました。

健康被害避けて

「築地も、駐軍のクリーニング工場やガソリ

ンスタンドがあって汚染されている」という人がいますが、買や桁全く違います。ネズミとか、雨漏りなどは、比べる次元では到底ありません。

東京ガスの当事者は、汚染の事実を知っています。同様の工場があった南千住（荒川区）や大森（大田区）は、汚染対策を実施していますが手放していません。売れるような土壌にしようすれば、巨額の汚染除去費が掛かるからでしょう。

公益事業者であるガス会社が大手をネコ工として、縦にも横にも移動スに手を染め、消費者の利益を忘れたり、健康被害を出したりするようなことは避けてほしい。

大企業による公害は、チソンの水俣から始まって東京電力の放射能汚染で極まっています。豊洲へ生鮮市場の移転を強行すれば、日本や世界に流通する食物に、東京ガスが出した汚染物質が付着し、人の体をいためることになるかもしれません。人間として、一労働者として、こんな取っかしいことはありません。